

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	救助大会に向けた訓練中(ロープ応用登はん)に発生した事例
3. 体験した事例の中心的要素	飛びつき時にロープを掴むことが出来ず、登はん者がリードロープの余長分自由落下したもの。墜落まで1m弱で確保ロープにより停止したもの。負傷なし。
4. 体験した事例の原因・理由	飛びつきの高さを出すため、補助者の構えを変更した結果、飛びつき時に補助者が登はん者を押し上げた際に保持している懸垂線を大きく動かしてしまったため、登はん者が懸垂線を掴むことが出来なかった。(飛びつき失敗)

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成26年5月9日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：屋外訓練施設(6階建て訓練塔より懸垂線を設定。GLにて発生)
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[救助(大会に向けた)]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	登はん訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[29]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[6] 年、階級[消防副士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[25]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2] 年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[39]歳、勤続年数[15]年、現場経験年数[15] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他:副確保者]
○その他(当事者が4人以上の場合)	D33歳 14年 14年 消防士長 数度 リードロープ E29歳 5年 2年 消防副士長 初めて 主確保者

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者B	構え変更、押し上げ時、懸垂線を大きく動かす	
経過2	当事者A	飛びつき時、懸垂線を掴むことが出来なかった	
経過3	当事者C	確保ロープの余長が取れなかった	
経過4	当事者A	余長分、自由落下した。	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合: ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

その他 : 確保員がしっかりと確保を実施していた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

・確保者が毎日変わる。・競技の便宜上、確保ロープに余長があった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

ヒヤリハット状況図

登はん者が補助者を足掛かりにロープに飛びつく際、補助者の跳ね上げる方向が後方となり、登はん者がロープを掴めず後方へ



登はん者は命綱でぶら下がる状況となり、リードロープで命綱を後方に引いて取った余長分、自由落下してヒヤリとした。約2m自由落下、地上1mで停止。

